

# 災害支援ナース活動報告書

報告者：志田朝幸

所属施設：新潟白根総合病院

報告月日：令和6年1月25日

活動日	1月18日(木)～1月21日(日)
活動場所	施設名 珠洲市正院小学校
活動内容	<p>搬入物品の確認、搬入 避難者との会話による情報交換 保健師、薬剤師との小学校内の情報共有、各部屋で二酸化炭素濃度測定(換気について) 本部のミーティングに参加し室温計、湿度計設置していただくよう要望 避難者の健康観察(バイタルサイン測定) 小学校内及び仮設トイレの清掃、消毒 嗽箱の交換、嗽箱環境整備 避難所内、外ラウンド(危険個所の確認、動線の確認) ダンボールベッド13台を防災土と設置 厚労省からの内服薬、外用薬(応急処置)の確認、配置 避難所内散乱ガラスなど撤去作業 避難所で清掃班へ次亜塩素酸ナトリウムについて環境整備時、吐物、便処理による濃度について説明し周知徹底を促す DPOTによる避難者の診察介助 空飛ぶ捜索医療団(peace wind japan)より情報の共有、情報の報告、避難者の情報提供</p>
所感	<p>今日、急性期から慢性期へ移行している可能性もあり医療の需要が徐々に減っており、PWJなども少しずつ今後は巡回が減っていく感じが考えられる。 また、小学校が始まり避難所内のスペースを確保しづらくなっている現状がある。 今回の避難所では高血圧症の方がいるが食事面で塩分の高い食事形態(カップ麺、お菓子類)が提供されていたが今後は塩分の低い食事形態が必要とされ検討していく必要があると実感した。また、寒い日が続くが食事もその日の内に摂取し、次の日に持ちこさないよう配慮が必要である(食中毒の予防のため) 災害支援ナースとして活動し他職種との連携、避難者への周知徹底することで防げることはたくさんあると思うが優先順位を考え次につなげる支援を心がけ実践した。</p>